

Honeywell

Contacts:

メディア

Stacey Jones

(980) 378-6258

Stacey.Jones@honeywell.com

投資家向け広報

Mark Macaluso

(704) 627-6118

mark.macaluso@honeywell.com

HONEYWELL、スピンオフ後に有効となる新ブランドを発表：
‘HONEYWELL TECHNOLOGIES’ および ‘HONEYWELL AEROSPACE’

2026年6月1日、米国 ノースカロライナ州シャーロット、— Honeywell (NASDAQ: HON) は本日、同社のオートメーションおよびエアロスペース事業に関する新たなブランドアイデンティティとして、「Honeywell Technologies」および「Honeywell Aerospace」を発表しました。これらは、Honeywell がエアロスペース事業のスピンオフを実施する 2026年6月29日に、独立した上場企業2社となる予定です。



Honeywell の現在のブランド価値は 180 億ドルと推定されており、135 年以上にわたり顧客にイノベーションを提供してきた企業として広く知られています。両新ブランドは Honeywell の歴史を継承しつつ、各社の注力戦略および長期的な成長軌道を反映したものとなります。

・オートメーション事業部門は、「Honeywell Technologies (ハネウェル・テクノロジーズ)」という新たな企業名称を採用し、Nasdaq では引き続きティッカーシンボル「HON」で取引されます。同社は、オートメーションから自律化への産業の移行を牽引するグローバルリーダーとなることを目指し、顧客の生産性と成長を推進するための、ミッションクリティカルかつ成果志向型のテクノロジー、ソリューション、およびソフトウェアから成る包括的なポートフォリオを提供します。

・航空宇宙事業部門の新たな企業名称は「Honeywell Aerospace（ハネウェル・エアロスペース）」であり、Nasdaqではティッカーシンボル「HONA」で取引される予定です。同社は、最大級の上場純粋エアロスペースサプライヤーの一つとして、テクノロジーおよびシステム分野におけるリーディングポジションを有し、電動化および自律飛行の進展を通じて、航空の未来を引き続き実現していきます。

「本日は、当社が2つの独立した注力型企业へと変革を遂げる上での、もう一つの重要な節目となります」と、Honeywellの会長兼CEOであるVimal Kapurは述べました。「Honeywellの100年以上にわたる伝統を基盤とし、これらの新たなブランドは当社の歴史を尊重するとともに、Honeywell Technologies および Honeywell Aerospace が独立企業として定義していく大胆なビジョンと戦略的フォーカスを体現するものです。これは両事業にとって新たにエキサイティングな時代の始まりです。」

Honeywell Technologies

Honeywell Technologies の新ブランドは、同社の明確な注力領域と大胆な志を示すものです。高い躍動感とダイナミズムを備えたデザインは、象徴的なハネウェル・レッドを基調としつつ、より拡張され鮮やかなカラーパレットと現代的な「HT」モノグラムを採用しています。「インターセクション（intersections）」というコンセプトを中心に構築されたビジュアルシステムは、同社の専門性とテクノロジーが交わる領域を表現し、これにより顧客に提供される精度、信頼性、効率性を実現します。

「当社の新ブランドは、制御、インテリジェンス、安全といった分野において、当社のテクノロジーと専門性が交差する強力な接点を示しています。これにより産業の在り方を再定義し、より自律化された未来への移行を加速させるとともに、新たな成長機会と長期的価値の創出を実現していきます」と Kapur は述べています。「Honeywell Technologies として、この大胆な新章は当社の将来に向けた基盤を一層強化するとともに、顧客に成果を提供するために継続的に能力を進化させていく当社の姿勢を示すものです。」

Honeywell Aerospace

ダイナミックな Honeywell Aerospace のブランドは、新たに進化したロゴを中核としています。ロゴは様式化された「H」と「A」で構成され、流れるようなネガティブスペースによって地平線のラインを想起させます。シグネチャーカラーには、特徴的なサンライズオレンジを採用し、パイロットが夜明けに見る地平線の色合いを想起させるとともに、航空機の素材感を表現するシルバーのアクセントを組み合わせています。このカラーパレットは、Honeywell Aerospace に独自のアイデンティティを与えると同時に、長年にわたり Honeywell が築いてきた信頼性も反映しています。

「新たな Honeywell Aerospace ブランドは、当社がこれまで1世紀にわたりお客様およびパートナーの皆様に提供してきたイノベーションと信頼性あるパフォーマンスを特徴づけてきた、精度、確信、そして前進する力を体現しています」と、Honeywell Aerospace の社長兼CEOである Jim Currier は述べました。「独立企業として、当社はより迅速なイノベーションの実現、

より高い機動性をもった事業運営、そして航空の次の時代を形づくる上で、他に類を見ないポジションに立つこととなります。」

新会社に関する詳細については、各社のインベスターデーにて発表される予定であり、プレゼンテーション、技術デモンストレーション、および経営陣による質疑応答セッションが実施されます。

Honeywell Aerospace は、2026年6月3日（水）にアリゾナ州フェニックスでインベスターデーを開催予定です。また、Honeywell Technologies は、2026年6月11日（木）にニューヨーク市でインベスターデーを開催予定です。プレゼンテーションのリアルタイムウェブキャストは、<http://www.honeywell.com/investor> にて視聴いただけます。

###

Honeywell について

Honeywell は、世界中の幅広い業界および地域にサービスを提供する統合型オペレーティングカンパニーであり、Honeywell Accelerator オペレーティングシステムおよび Honeywell Forge プラットフォームを基盤としたポートフォリオを展開しています。信頼されるパートナーとして、当社は組織が直面する世界で最も困難かつ複雑な課題の解決を支援し、航空宇宙、ビルオートメーション、産業オートメーション、プロセスオートメーション、およびプロセステクノロジー分野において実行可能なソリューションとイノベーションを提供しています。これにより、世界をよりスマートで安全、かつより安心して持続可能なものとすることを目指しています。Honeywell に関する最新のニュースおよび情報については、www.honeywell.com/newsroom をご覧ください。

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

当社は本プレスリリースにおいて、当社の事業および今後の業績に影響を及ぼすさまざまな動向および要因について説明しています。これには、1934年「証券取引法 (Exchange Act) 」第21E条に基づく将来予想に関する記述が含まれており、ハネウェルおよびハネウェル・エアロスペースの分離計画、ならびにプロダクティビティ・ソリューションズ&サービスおよびウェアハウス&ワークフロー・ソリューションズ事業の売却計画に関連する内容が含まれます。

将来予想に関する記述とは、当社または当社経営陣が意図、期待、予想、信頼、または想定する将来の活動、事象または展開に関する記述を意味します。これらの記述は、過去の経験および動向、現在の経済および業界環境、今後予測される展開、その他関連要因に照らした経営陣の仮定および判断に基づいており、その多くは予測が困難であり、当社の統制の及ばない要素に依存しています。これには、ハネウェルおよびハネウェル・エアロスペースの分離ならびに関連事業の売却計画に関する現在の期待、見込みおよび予測が含まれます。

将来予想に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、実際の業績、展開および経営上の意思決定は、ハネウェルおよびハネウェル・エアロスペースの分離計画および関連事業の

売却、ならびにそれぞれの計画から期待される利益を含め、本プレスリリースに記載された将来予想に関する記述と大きく異なる可能性があります。

当社は、適用される証券法で要求される場合を除き、これらの将来予想に関する記述を更新または修正する義務を負いません。また、これらの将来予想に関する記述は重要なリスクおよび不確実性の影響を受けます。これには、マクロ経済および地政学的リスクが含まれ、例えば、関税およびその他の貿易障壁を含む貿易および税制の法律・政策の変更または適用、米国または世界的な GDP 成長の鈍化または景気後退、サプライチェーンの混乱、資本市場の変動性、インフレーション、中東地域を含む特定地域における紛争などが挙げられ、これらは短期および長期の双方において当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。さらに、本プレスリリースに記載された計画、施策、予測、目標、コミットメント、期待または見通しのいずれについても、それが達成される保証はありません。

本将来予想に関する記述は、本プレスリリース、当社の Form 10-K および米国証券取引委員会 (SEC) へのその他の提出書類に含まれる情報と併せて検討されるべきものです。また、本書に記載された将来計画は最終的なものではなく、いつでも変更または中止される可能性があります。